

巻頭特集

未来につながる安全保障 1

第 I 部

わが国を取り巻く安全保障環境

ダイジェスト 39

第1章 概観

- 1 グローバルな安全保障環境 43
- 2 インド太平洋地域における安全保障環境 44

第2章 ロシアによる侵略とウクライナによる防衛

- 1 全般 49
- 2 ウクライナ侵略の経過と見通し 49
- 3 ウクライナ侵略が国際情勢に与える影響と各国の対応 56

第3章 諸外国の防衛政策など

- 第1節 米国 61
 - 1 全般 61
 - 2 軍事態勢 70
- 第2節 中国 73
 - 1 全般 73
 - 2 軍事 74
 - 3 対外関係など 98
- 第3節 米国と中国の関係など 103
 - 1 米国と中国の関係（全般） 103
 - 2 インド太平洋地域における米中の軍事動向 104
 - 3 台湾の軍事力と中台軍事バランス 107
- 第4節 朝鮮半島 114
 - 1 北朝鮮 115
 - 2 韓国・在韓米軍 134
- 第5節 ロシア 139
 - 1 全般 139
 - 2 安全保障・国防政策 139
 - 3 軍事態勢と動向 141

- 4 北方領土などにおけるロシア軍 148
- 5 対外関係 149
- 第6節 大洋州 155
 - 1 オーストラリア 155
 - 2 ニュージーランド 159
 - 3 太平洋島嶼国 159
- 第7節 東南アジア 161
 - 1 全般 161
 - 2 各国の安全保障・国防政策 161
 - 3 地域内外における協力 167
- 第8節 南アジア 168
 - 1 インド 168
 - 2 パキスタン 170
 - 3 カシミール地方の帰属をめぐるインドとパキスタンとの対立 172
- 第9節 欧州・カナダ 173
 - 1 全般 173
 - 2 多国間の安全保障の枠組みの強化 173
 - 3 欧州各国などの安全保障・防衛政策 175
- 第10節 中東・アフリカ 179
 - 1 中東 179
 - 2 アフリカ 183
- 第11節 その他 188
 - 1 国際テロリズムの動向 188
 - 2 海洋をめぐる動向 189
 - 3 大量破壊兵器の移転・拡散 192

第4章 新しい戦い方をめぐる動向

- 第1節 ウクライナ侵略でみられる新しい戦い方や課題 196
 - 1 全般 196
 - 2 新しい戦い方や課題 196

第2節	各国の取組	203
1	米国	203
2	中国	205
3	韓国	205
4	インド	206
5	欧州	206
6	イスラエル	208

第3節	新しい戦い方を支える各種領域や先端技術の動向	211
1	宇宙領域をめぐる動向	211
2	サイバー領域をめぐる動向	215
3	電磁波領域をめぐる動向	220
4	先端技術をめぐる動向	222
5	認知領域をめぐる動向	226
第4節	防衛生産・技術基盤をめぐる動向	230

第Ⅱ部

わが国の安全保障・防衛政策

ダイジェスト	235
--------	-----

第1章 安全保障と防衛の基本的考え方

第1節	安全保障を確保する方策	237
第2節	憲法と防衛政策の基本	237
1	憲法と自衛権	237
2	憲法第9条の趣旨についての政府見解	238
3	基本政策	238
第3節	安全保障政策の体系	241
第4節	「三文書」の改定について	242

第2章 国家安全保障戦略などの「三文書」と防衛関係費

第1節	国家安全保障戦略の概要	244
第2節	国家防衛戦略の概要	244
第3節	防衛力整備計画の概要	250
1	計画の方針	250
2	自衛隊の体制など	251
3	整備規模	252
4	所要経費など	252
第4節	防衛関係費	253
1	2026年度防衛関係費の概要	253

2	防衛関係費の内訳	254
3	最適化への取組	257
4	防衛力強化のための財源確保	257
5	各国との比較	258

第3章 安全保障と防衛を担う組織

第1節	国家安全保障会議	260
第2節	防衛省・自衛隊の組織	261
1	防衛力を支える組織	261
2	自衛隊の統合運用体制	265
3	統合作戦司令部	266

第4章 自衛隊の行動に関する枠組み

1	自衛隊の任務	268
2	わが国の防衛	268
3	公共の秩序の維持や武力攻撃に至らない侵害への対処など	270
4	重要影響事態への対応	275
5	国際社会の平和と安定への貢献に関する枠組み	276

第Ⅲ部

防衛目標を実現するための3つのアプローチなど

ダイジェスト	281
--------	-----

第1章 わが国自身の防衛体制

第1節	わが国に対する侵攻への対応など	286
1	わが国に対する侵攻や大規模テロなどへの対応	287
2	力による一方的な現状変更の試みへの対応など	291
第2節	わが国の防衛力の抜本的強化	302
1	スタンド・オフ防衛能力の強化	303
2	統合防空ミサイル防衛能力の強化	307
3	無人アセット防衛能力の強化	310
4	領域横断作戦能力の強化	312

5	指揮統制・情報関連機能の強化	324
6	機動展開能力の強化と国民保護の取組など	331
7	持続性・強靱性の強化	336
第3節	国全体の防衛体制の強化	341
1	研究開発	341
2	公共インフラ整備	342
3	サイバー安全保障	343
4	わが国と同志国の抑止力の向上などのための国際協力	344
5	平素からの常時継続的な情報収集・警戒監視など	345
6	宇宙領域に関する取組	347
7	大規模災害などへの対応	348

8	在外邦人等の保護措置および輸送への対応	352
第4節	わが国自身による防衛体制を強化するための訓練・演習など	354
1	わが国自身による抑止力・対処力を強化するための訓練	354
2	各種訓練環境の整備や安全管理の取組	357
第2章 日米同盟		
第1節	日米安全保障体制の概要	359
1	日米安全保障体制の意義	359
2	日米防衛協力のための指針（ガイドライン）の内容	360
3	日米間の政策協議	360
第2節	日米共同の抑止力・対処力の強化	363
1	宇宙領域やサイバー領域などにおける協力	363
2	統合防空ミサイル防衛	364
3	情報収集・警戒監視・偵察（ISR）活動	364
4	米軍等の部隊の武器等防護	364
5	後方支援	364
6	共同訓練・演習	365
7	拡大抑止	365
8	共同使用	366
第3節	同盟調整機能の強化	367
1	同盟調整メカニズムの設置	367
2	指揮・統制の強化	368
3	運用面におけるより緊密な調整	369
第4節	在日米軍の駐留に関する取組	370
1	在日米軍の駐留	370
2	在日米軍再編に向けた取組	373
3	在日米軍の駐留に関する取組	386
第5節	日米共同訓練・演習など	392
1	日米同盟の強化に資する訓練	392
2	日米に第三国を交えた多国間共同訓練	394

第3章 同志国などとの連携

第1節	多角的・多層的な安全保障協力の戦略的な推進	399
1	同志国などとの連携の意義など	399
2	各国との防衛協力・交流の推進	404
3	多国間安全保障協力の推進	430
4	能力構築支援への積極的かつ戦略的な取組	435
第2節	同志国との訓練・演習など	438
1	同志国との二国間共同訓練	438
2	同志国などとの多国間訓練	439
第3節	国際平和協力活動への取組	446
1	国際平和協力活動の枠組みなど	446
2	国連PKOなどへの取組	447
3	国際緊急援助活動への取組	450
第4節	国際社会全体との連携	451
1	軍備管理・軍縮・不拡散関連条約などへの取組	451
2	大量破壊兵器の不拡散などのための国際的な取組	452
3	女性・平和・安全保障（WPS）推進に向けた取組	453
4	海洋安全保障の確保	456

第4章 地域社会や環境との共生に関する取組

第1節	地域社会との調和にかかる施策	458
1	民生支援活動	458
2	地方公共団体などによる自衛隊への協力	459
3	地方公共団体と地域住民の理解と協力を得るための施策	459
4	防衛施設と周辺地域との調和を図るための施策	460
5	その他の取組	464
第2節	気候変動・環境問題への対応	466
1	防衛省・自衛隊の取組	466
2	在日米軍施設・区域に関する取組	467
第3節	情報発信や公文書管理・情報公開など	469
1	様々な広報活動	469
2	公文書管理・情報公開に関する取組	472
3	個人情報保護に関する取組	472
4	政策評価などに関する取組	473

第Ⅳ部

防衛生産・技術基盤の強化

ダイジェスト	475
--------	-----

第1章 防衛生産・技術基盤をめぐる状況

第1節	安全保障を支える防衛生産・技術基盤	479
1	「新しい戦い方」と防衛生産・技術基盤	479
2	防衛生産・技術基盤をめぐる各国の動向	479
第2節	わが国の防衛生産・技術基盤を取り巻く環境	480

第2章 防衛生産・技術基盤の維持・強化に向けた基本的な考え方

第1節	防衛生産基盤の強化	482
1	防衛生産基盤強化法と基本方針	482
2	防衛生産基盤強化法以外の主な取組	488
第2節	防衛技術基盤の強化	498
1	防衛技術基盤の強化の必要性	498
2	防衛技術指針2023に示す防衛技術基盤の強化の方向性	499
3	民生技術の積極的な活用	500
4	防衛科学技術委員会の設置	505

第3節 経済安全保障に関する取組	506	5 研究、開発、試験及び評価プロジェクトに関する 日米豪取決め	516
1 基本的考え方	506	6 F-35戦闘機生産への国内企業の製造参画や 整備拠点の設置	516
2 日本政府内の動向	506	7 日米オスプレイの共通整備基盤の確立に向けた取組	516
3 防衛省の取組	506	第3節 新たな防衛装備・技術協力の構築	517
第4節 防衛生産・技術基盤とイノベーション	508	1 諸外国との防衛装備・技術協力など	517
1 防衛力の強化と経済の関係	508	2 開発途上国に対する装備品の提供	521
2 その他わが国全体に波及する取組	508	3 防衛装備・技術協力にかかるその他の取組	521
		4 次期戦闘機の共同開発	523
第3章 防衛装備・技術協力と防衛装備移転の推進		第4章 装備品の最適化の取組	
第1節 防衛装備移転三原則について	510	1 合理的な装備体系の構築のための取組	525
1 防衛装備移転三原則	510	2 限られた人材を最大限有効に活用するための取組 (無人化・省人化)	525
2 いわゆる「5類型」の見直しをめぐる議論	511	3 ライフサイクルを通じたプロジェクト管理	525
3 防衛装備移転三原則の運用指針（改正後）	511	4 契約制度などの改善	527
第2節 米国の防衛装備・技術協力など	514	5 調達効率化に向けた取組など	528
1 防衛装備・技術協力の取組	514	6 FMS調達の合理化に向けた取組の推進	528
2 装備品の共同研究・開発など	514		
3 日米防衛産業協力・取得・維持整備定期協議（DICAS）	515		
4 インド太平洋における産業基盤強靱化パートナーシップ (PIPIR)	516		

第V部

人的基盤の強化

ダイジェスト	531	2 生活・勤務環境の改善	546
第1章 プロフェッショナルな自衛隊員		3 新たな生涯設計の確立	546
第1節 様々な勤務場所で任務を全うする自衛隊員	536	4 その他	547
1 自衛官	536	第2節 人的基盤強化のための各種施策	548
2 事務官・技官・教官など	537	1 人的基盤の抜本的強化に関する取組	548
第2節 自衛隊員のキャリアアップ	541	2 人的基盤強化の取組	548
第2章 自衛官の処遇・勤務環境の改善および 新たな生涯設計の確立など		3 サイバー人材の確保	566
第1節 自衛官の処遇・勤務環境の改善及び 新たな生涯設計の確立に関する関係閣僚会議	545	4 ワークライフバランス・女性の活躍のさらなる推進	568
1 自衛官の処遇改善	546	5 ハラスメントを一切許容しない環境の構築	572
		6 隊員や家族への支援	574
		第3節 その他の取組	577
		1 衛生機能の変革	577
		2 政策立案機能の強化	579

資料編

<https://www.mod.go.jp/j/press/wp/wp2026/pdf/R08shiryō.pdf>



防衛年表

<https://www.mod.go.jp/j/press/wp/wp2026/pdf/R08nenpyō.pdf>





特定のトピックについて、防衛省の立場からより詳しい説明を加えています。



現場の隊員や部外の関係者などによる、個人の立場からの考えや感想などを掲載しています。
(階級・勤務先は2026年3月31日現在のもの)



防衛研究所の研究者による、個人の立場からよりアカデミックな観点での分析を述べています。研究者個人が公開資料に依拠して独自の立場から記述したものであり、日本政府あるいは防衛省の公式見解を示すものではありません。

第 I 部

第1章 概観

- 解説** 各地域間の安全保障環境の連関がわが国に及ぼす影響 48
解説 わが国周辺におけるミサイル脅威の高まり 48

第3章 諸外国の防衛政策など

- 解説** トランプ政権における米国の本土防衛に関する取組 67
視点 台湾をめぐる中国の軍事動向 102
解説 党第9回大会を踏まえた北朝鮮の核・ミサイル開発の見通し 133
解説 わが国周辺におけるロシアの軍事動向 153
視点 ロシア・中国・北朝鮮の軍事協力 154

第4章 新しい戦い方をめぐる動向

- 視点** 米軍における新しい戦い方にかかる取組 209
視点 中国における新しい戦い方にかかる取組 210
視点 認知領域における戦い 228
視点 情報通信技術 (ICT) 時代の新たな戦い方 229

第 II 部

第1章 安全保障と防衛の基本的考え方

- 解説** 自衛隊指揮官幹部会同 240

第2章 国家安全保障戦略などの「三文書」と防衛関係費

- 視点** 拡大抑止の意義 248

第 III 部

第1章 わが国自身の防衛体制

- 解説** 尖閣諸島について 292
解説 スタンド・オフ防衛能力 303
解説 臨時無人機運用隊 (仮称) の新編 312
解説 無人アセットを用いた機雷対処 312
解説 宇宙領域防衛指針の策定の背景について 314
解説 サイバー空間における新たな任務 319
解説 防衛省次世代情報通信戦略 325
解説 各国で活躍する防衛駐在官 327
VOICE 各国で活躍する防衛駐在官 328
VOICE 洋上で任務につく海上自衛官／自衛隊海上輸送群で勤務する陸上自衛官 332
VOICE 災害派遣への対応 348
VOICE 東京都島しょ地域からの緊急患者搬送 351
VOICE 次世代の災害対処を見据えた自衛隊統合防災演習における ICT・AI 活用 356

第2章 日米同盟

- VOICE** 同盟国との即応態勢の礎 393

第3章 同志国などとの連携

- VOICE** ウクライナ支援のための「地雷除去コアリション」の教育訓練課程に参加した隊員の声 416
VOICE ソロモン諸島における不発弾処理分野にかかる能力構築支援事業 437
VOICE イタリアにおける多国間空挺演習 (マンガスタ25) に参加して 440
解説 英空母打撃群の寄港 441
VOICE 北米・欧州親善訪問「アトランティック・イーグルズ」に参加した隊員の声 442

第 IV 部

第1章 防衛生産・技術基盤をめぐる状況

- 視点** わが国の防衛産業が直面する課題 481

第2章 防衛生産・技術基盤の維持・強化に向けた基本的な考え方

- VOICE** わが国の防衛産業を支える製造現場 (特定取組実施企業) からの声 486
解説 防衛装備移転円滑化基金の意義 487
VOICE わが国の防衛産業を支える製造現場 (中小企業) からの声 489
VOICE わが国の防衛産業を支える製造現場 (造船関連企業) からの声 490
VOICE 民間企業からの声 (スタートアップ:インフォステラ): 民間クラウド地上局技術の防衛応用と宇宙領域把握への貢献 492
VOICE 民間企業からの声 (スタートアップ: Synspec) 493
VOICE 防衛事業への取組と防衛事業適合事業者制度 (令和7年制定) の活用 496
VOICE 研究者の声 502

第3章 防衛装備・技術協力と防衛装備移転の推進

- 解説** 防衛装備移転三原則および運用指針の一部見直しについて 512
解説 もがみ型護衛艦の能力向上型のオーストラリアへの移転 518
VOICE GIGO岡真臣首席行政官×Edgewing マルコ・ゾフCEOインタビュー 524

第 V 部

第1章 プロフェッショナルな自衛隊員

- VOICE** 自衛隊員の家族の声 (お子様) 538
VOICE 自衛隊員の家族の声 (妻) 538
VOICE 宇宙領域の安定利用を根幹から支える 539
VOICE 日本を守る宝石を見つけ出す 539
VOICE 電磁波領域のプロとして 540
VOICE 音楽を通じた平和への貢献 540
VOICE へき地で勤務する航空自衛官 543
VOICE 成長の実感 544

第2章 自衛官の処遇・勤務環境の改善および新たな生涯設計の確立など

- VOICE** キャリア採用幹部で入隊した隊員の声 549
解説 職員一人ひとりの可能性を最大限に引き出す組織に (防衛省「事務官・技官等」人材戦略) の策定 552
VOICE 防衛装備庁の研究所の研究職技官 552
VOICE 社会で活躍する予備自衛官の声 555
VOICE 予備自衛官の雇用主の声 555
VOICE 特別な招集訓練に参加した予備自衛官の声 556
VOICE 米国海軍兵学校への入校、基礎訓練を修了して 558
VOICE 元自衛官の再任用制度を利用して 560
VOICE 再就職した隊員と雇用主の声 任期制退職隊員 563
VOICE 再就職した隊員と雇用主の声 若年定年退職隊員 564
VOICE 再就職した隊員と雇用主の声 任期制退職隊員 565
解説 「防衛省サイバー人材総合戦略」 567
VOICE サイバー脅威から陸上自衛隊のC4ISRを守るために 568
VOICE 特殊武器防護隊 (最後の女性の配置制限解除) 572